

理工系の進路選択について ～中学生の時に考えてほしいこと～

小山高専 物質工学科 教授 飯島道弘

これから進路選択をする中学生のみなさんに、理工系の進路選択を例として紹介します。自分のやりたいことや夢を模索し、将来の仕事イメージし、今できることは何か、を考えていきましょう。

理工系のイメージは？

理工系に対するイメージは、堅苦しいものが多いかもしれません。一般的に理工系でイメージしやすい「博士」という言葉からは、ノーベル賞受賞者やアニメのキャラクターなど、幅広い知識を持つことのできる強い人と想像する人が多いと思います。しかし、これらは、大学院で研究を行い、一定の成果を出すと取得できる学位であり、努力すれば誰でもチャンスがあるものです。ここでは、理工系の現状を紹介していきたいと思います。

学歴(学位)って？

中学校の卒業後は、高校などを経て大学に進みます。その後、大学院に進学することができ、学士、修士、博士という学位が取得できます。理工系では、学位により研究・開発職に就ける可能性が変わります。学歴や学位は、仕事内容、職種や給料にも影響するものであるため、将来を見据えた早めの進路選択や目標設定が必要になります。

学位について

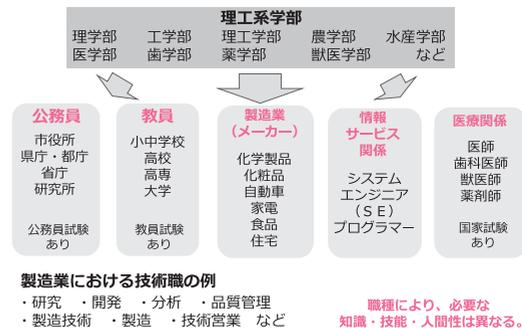
理工系学生全体で数%程度



理工系の職種ってどんなもの？

理工系大学には、複数の学部がありますが、重要なことは、将来どんな仕事をしてどんな生活をしたかを考えていくことです。理工系の大学を卒業すると、多様な業種への就職がありますが、大部分の人が製造業の技術職に就きます。技術職にも様々な仕事内容があり、自身の性格や適性に合うものを選択していく必要があります。理工系の仕事は、地味で堅実なものが多いですが、安定して必要とされるものが多いのも特徴です。将来の仕事を意識したときに、職種により必要とされる資質は異なりますが、基礎・専門的知識に加えて、責任感、協調性、計画性、調査能力などは重要となるでしょう。このように、将来の仕事観を持ち、早い段階から必要な技能や学歴、人間性を意識することで夢や目標の実現につながると思います。

理工系の職業例



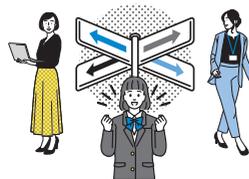
みなさんへのメッセージ ～これから心がけてほしい五つのこと～

01 自分自身を知ること



自分を知ることによって、勉強や仕事のスピード、ストレス解消法を理解でき、結果的に適職を見つけることができます。そのためには、学生時代に何事にも一生懸命に取り組み、自分の能力を把握し、継続的に磨き続けることが必要です。経験にマイナスはないことを留意し、自身の可能性を見つけていきましょう。

02 常に夢や目標を持つこと



大きな夢と実現可能な小さな目標を常に持ち、日々努力していれば将来的に何かのかたちで実現できます。夢の実現のために何が必要かを常に考えていくことが重要です。この際に、中学校までの全ての知識は一般常識として入社試験でも必要です。社会人の基礎としてしっかりと勉強しておきましょう。

03 常に向上心を持つこと



文系・理工系というものは、30歳くらいまでに何を中心に学んでいくか、ということでもあり、理工系を選択しても、将来仕事をしていく上では、文系教科の知識も必要になります。常に向上心を持って行動していきましょう。

04 人とのつながりを大切に、常に真剣に向き合うこと



人との出会いは、自身の価値観を広げるだけでなく、連携体制や仕事上の成功にもつながります。常に人との出会いを大切に、つなげていく努力を怠らないようにしてください。そのためには、年代・性別問わず会話できるコミュニケーション能力が必要です。課外活動、学校のイベントなどに積極的に取り組み、能力を磨いていきましょう。

05 いつでもプラス思考に転換できること



理工系の研究などにおいて、失敗はつきものです。実験だけでなく全てのことについて、いつでもポジティブで前向きな考え方に変換できることが自身の向上につながります。

理工系は、ただ理科が好きだけではいけません。将来的に、調査・発表能力、資料作成能力、コミュニケーション能力、基礎体力など様々なものが必要になります。しかし、今、得意でなくても好きであれば興味を持続でき、経験により得意になるので安心して大丈夫です。

理工系および文系の選択には、好きな科目、将来の夢、自身の性格などから総合的に考えていくと良いと思います。みなさんの可能性は無限です。夢に向かって今できることを着実に努力し続けましょう。